

映像デザイン演習 I

No.	到達目標	評価基準					評価方法		
		S (極めて高い水準で達成している)	A (高い水準で達成している)	B (標準的な水準で達成している)	C (最低限の水準で達成している)	D (未達成である) 1つでもあてはまれば不合格	レポート等 30%	課題 60%	プレゼンテーション 10%
1	アイデアを映像に展開するための企画と構成ができる。(D)	アイデアを映像に展開するための企画力と構成力が卓越しており、映像制作の基本的な要素や構成方法を踏まえつつ、オリジナリティのある魅力的な企画を立てることができる。	アイデアを映像に展開するための企画力と構成力が高く、映像制作の基本的な要素や構成方法を熟知し、高度な企画を立てることができる。	アイデアを映像に展開するための企画力と構成力がある。映像制作の基本的な要素や構成方法を適切に活用し、一定のクオリティの企画を立てることができる。	映像制作の基本的な要素や構成方法に一定の理解があるが、改善の余地があり、より洗練されたアプローチが求められる。	映像制作の基本的な要素や構成方法について理解しておらず、十分な企画を立てることができない。	○	○	○
2	実写映像でストーリーが表現できる。(D)	ストーリーテリングの基本的な原則やテクニックを熟知し、魅力的且つ視聴者に強い印象を与えることができるオリジナリティ溢れる高度なストーリーを表現できる。	ストーリーテリングの基本的な原則やテクニックを適切に活用し、魅力的且つ視聴者に強い印象を与えることができる高度なストーリーを表現できる。	ストーリーテリングの基本的な原則やテクニックを適切に活用し、視聴者に伝わるストーリーを作成できる。	ストーリーテリングの基本的な原則やテクニックを一部理解しているが、ストーリーを適切に伝えることができない。	ストーリーテリングの基本的な原則やテクニックに関する理解が不十分であり、ストーリーを作れない。	○	○	○
3	撮影・音声機材の操作方法について理解できる。(C-2)	撮影・音声機材の操作方法について卓越した理解と能力を持ち、高度な作業や設定を行うことができるだけでなく、他のメンバーに指導やサポートを行うことができる。	撮影・音声機材の操作方法についての理解度が高く、操作方法や機能について高度な作業や設定を行うことができる。	撮影・音声機材の操作方法についての理解があり、一定のレベルでの操作が可能である。	撮影・音声機材の操作方法について基本的な理解があるが、実践的な経験が不足しており、独自の判断や対応ができない。	機材の基本的な操作方法や機能についての知識が欠如しており、操作することができない。	○	○	